

令和 6 年度定期点検に伴う工事及び業務委託について

企業局業務課

No	委託名
1	和賀川河川現況調査業務委託 (R5～R7)

○業務内容

- ・和賀川の中流と下流の 2 箇所にて現地踏査及び河床堆積物と付着藻類の調査を年に 2 ～ 3 回実施する。【資料 2-1 P2】
- ・令和 5 年度から 3 箇年実施し、定期点検前年度・定期点検当該年度・定期点検次年度の状況を調査、比較する。

No	委託名
2	和賀川河川環境調査業務委託 (H30～継続中)

○業務内容

和賀川の河川環境に精通して和賀川淡水漁業協同組合と共同で、和賀川におけるアユの生育状況やアユの餌となる藻の繁殖状況を確認するため、河川環境調査を実施する。

県南施設管理所

No	工事名
1	取水塔・調整塔脚部塗装工事
2	取水塔量水標補修工事
3	取水塔スクリーン補修工事
4	取水塔・調整塔スクリーン架台等構成部材塗装工事

No	委託名
1	取水塔・調整塔耐震診断業務委託
2	取水口制水門開度計ほか点検業務委託
3	取水口護岸擁壁劣化度調査業務委託

取水口以外の関係する工事・業務

No	工事・委託名
1	湯田ダム水位低下周知看板設置・撤去工事 【資料 2-1 p3】
2	湯田ダム下流和賀川河川水質調査業務委託 【資料 2-1 p4】

○2の業務目的

湯田ダム共同取水口の定期点検に伴う、貯水位の低下前、低下中、低下後の水質（濁度）を測定し、河川の状況を把握するために実施する。

和賀川河川現況調査業務委託

<試料採取地点>
和賀中央橋上流

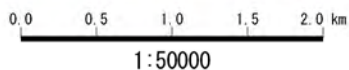
<試料採取地点>
九年大橋上流

仙人発電所
(和賀中央橋上流約11km)

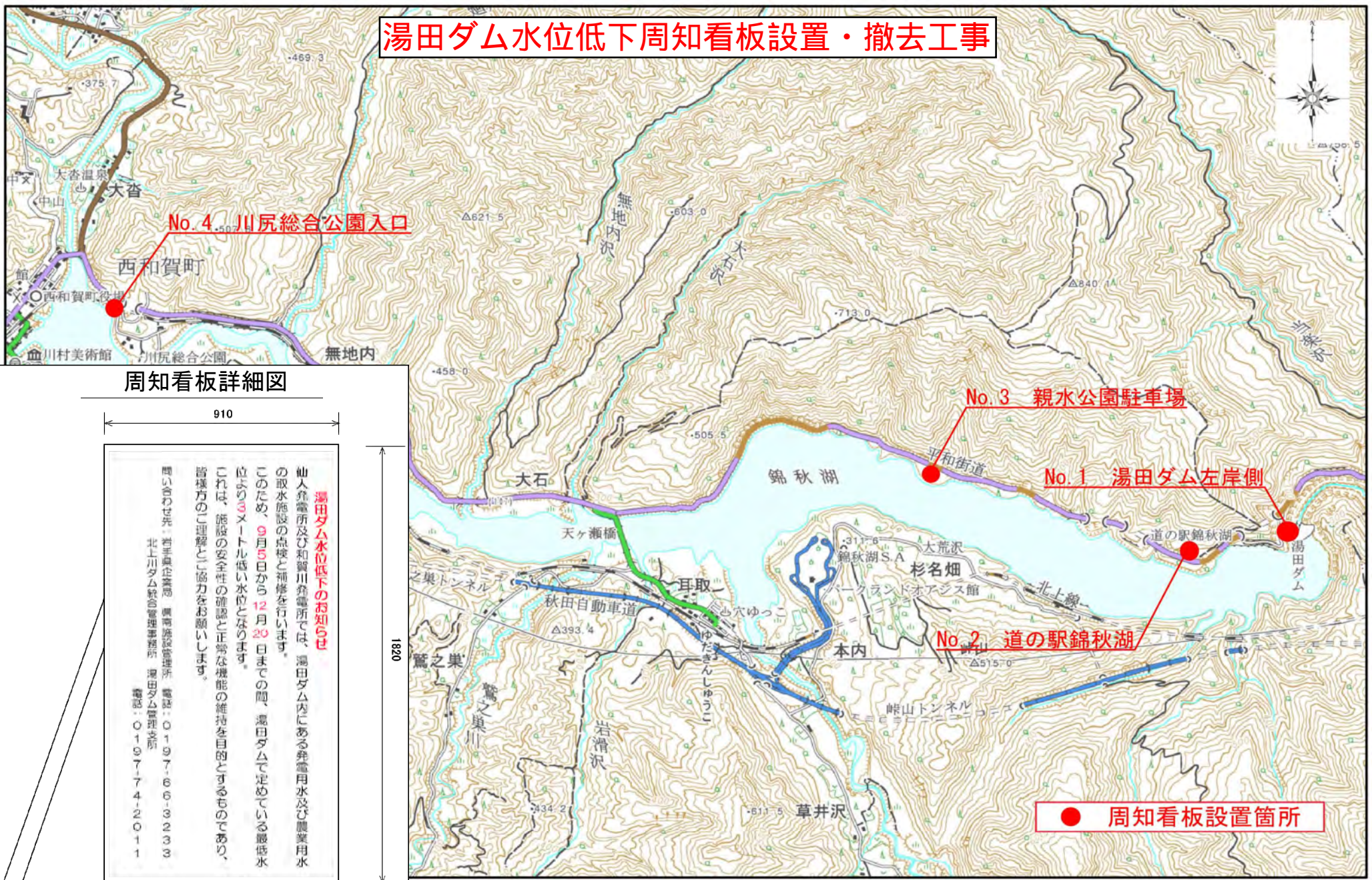
河床等調査範囲(北上川合流点~煤孫橋上流)

○河床堆積物、付着藻類、水質、魚類調査位置

○河床管理調査



湯田ダム水位低下周知看板設置・撤去工事



周知看板詳細図

910

1820

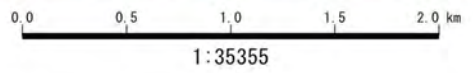
180

奥行1500

湯田ダム水位低下のお知らせ

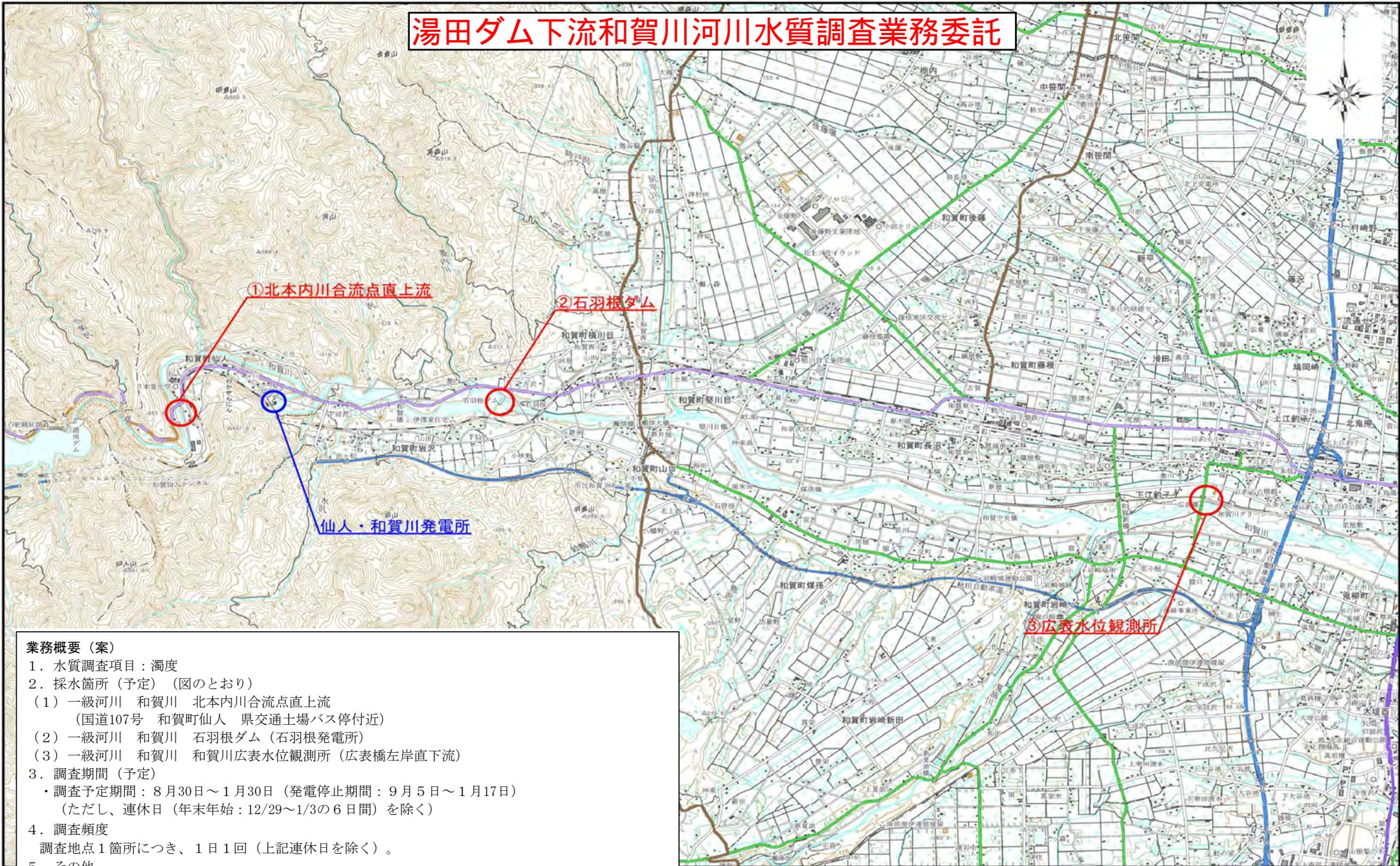
仙人発電所及び和賀川発電所では、湯田ダム内にある発電用水及び農業用水の取水施設の点検と補修を行います。このため、9月5日から12月20日までの間、湯田ダムで定めている最低水位より3メートル低い水位となります。これは、施設の安全性の確認と正常な機能の維持を目的とするものであり、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先：岩手県企業局 奥羽施設管理課 電話：0197-66-3233
 北上川ダム総合管理事務所 湯田ダム管理支所 電話：0197-74-2011



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R4Jhs
53-GISMAP55509号

湯田ダム下流和賀川河川水質調査業務委託



業務概要 (案)

1. 水質調査項目：濁度
2. 採水箇所 (予定) (図のとおり)
 - (1) 一級河川 和賀川 北本内川合流点直上流
(国道107号 和賀町仙人 県交通土場バス停付近)
 - (2) 一級河川 和賀川 石羽根ダム (石羽根発電所)
 - (3) 一級河川 和賀川 和賀川広表水位観測所 (広表橋左岸直下流)
3. 調査期間 (予定)
 - ・調査予定期間：8月30日～1月30日 (発電停止期間：9月5日～1月17日)
 - (ただし、連休日 (年末年始：12/29～1/3の6日間) を除く)
4. 調査頻度
調査地点1箇所につき、1日1回 (上記連休日を除く)。
5. その他
 - ・和賀川広表水位観測所において、併せて天候、水温、気温、水位の観測及び測定を行う。
 - ・測定値はインターネット或いはメール等で関係者に共有できるようにする。

前回（平成 26 年度）定期点検時の濁水流下状況

1 定期点検及び修繕工事の概要

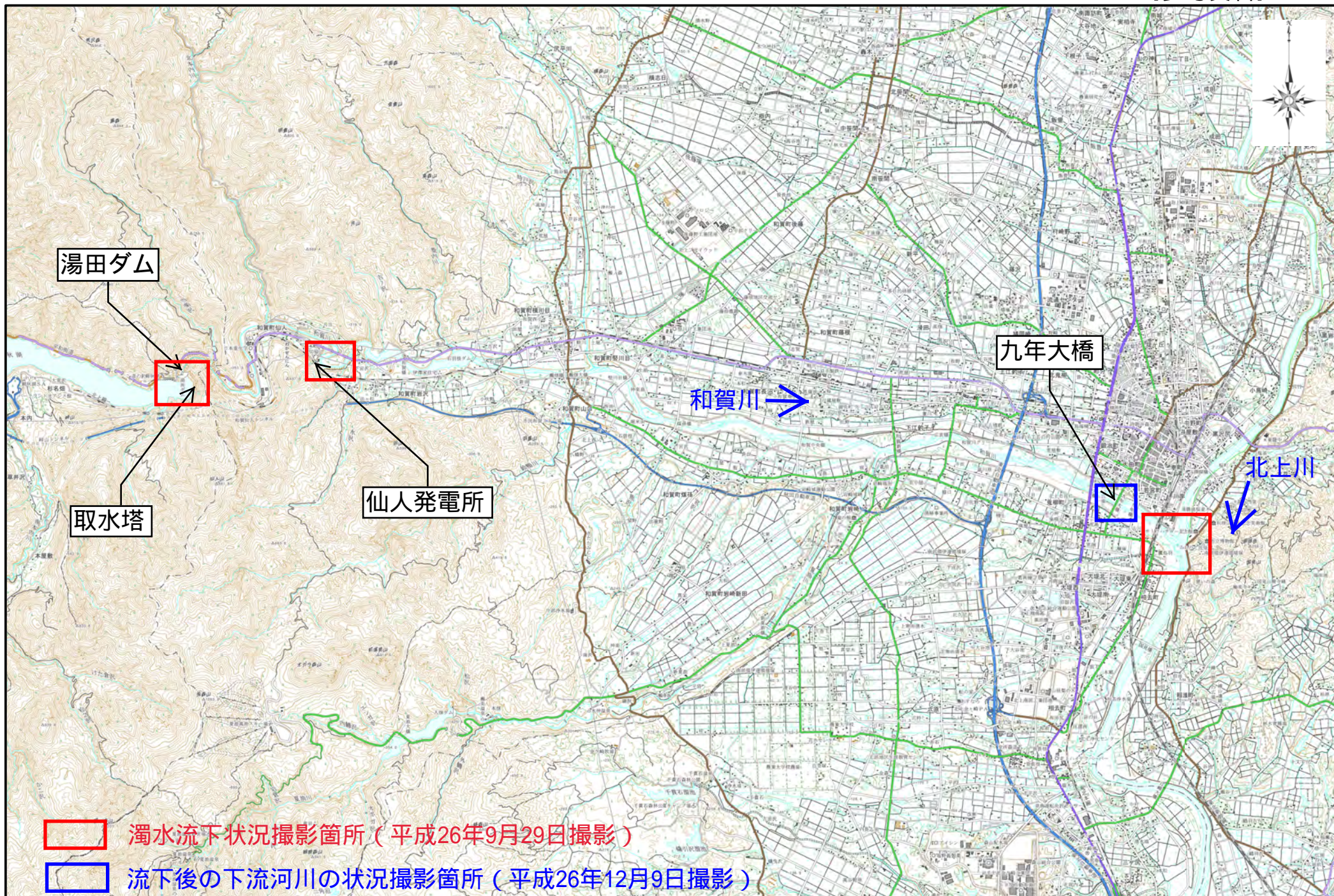
- ・ 仙人発電所の湯田ダム共同取水口（取水塔・調整塔）については、概ね 10 年毎にダム水位を最低水位よりも下げて、取水塔及び調整塔等の水路工作物の定期点検を実施。
- ・ ダム水位を最低水位よりも下げなければ実施できない取水塔塗装工事などの工事についても、定期点検に合わせて実施。
- ・ なお、上記の点検及び工事に伴う水位低下期間は、平成 26 年度時は、平成 26 年 9 月 21 日から同年 11 月 30 日までとし実施。

2 濁水発生時の経緯と影響

- ・ 平成 26 年 10 月に仙人発電所取水口定期点検及び修繕工事に伴い、湯田ダムの水位を最低水位標高 215m より 6.5m 低い 208.5m まで低下して運用。
- ・ この工事等に伴いダム水位を低下させていたところ降雨があり、湖面に露出していた泥分の洗堀によって貯水池内が濁り、水位維持を目的とした放流が重なったため、ダム下流の和賀川に濁水が流出した。
- ・ 濁水が流下した後に河床堆積物調査を行ったところ、下流河川の石の表面に泥分の付着がみられた。

撮影箇所位置図

【参考資料】



濁水流下状況撮影箇所 (平成26年9月29日撮影)

流下後の下流河川の状況撮影箇所 (平成26年12月9日撮影)

0.0 1.0 2.0 3.0 4.0 5.0 km
1:99222

濁水流下状況写真

【参考資料】



湯田ダム貯水池
※濁水発生時

平成26年9月29日



和賀川下流(仙人発電所)
※濁水発生時

平成26年9月29日



北上川合流点
※濁水発生時

平成26年9月29日

流下後の下流河川の状況




	<p>下流地点 九年大橋上流 遠景</p> <p>撮影：平成26年12月9日</p>
	<p>下流地点 九年大橋上流 近景</p> <p>撮影：平成26年12月9日</p>
	<p>下流地点 九年大橋上流 河床堆積物調査区画</p> <p>撮影：平成26年12月9日</p>

写真 1.3.1(1) 現場状況（下流地点：九年大橋上流）
平成26年度仙人発電所下流河川環境調査業務委託成果より

河川環境保全に向けた取組について

1 河川環境調査

平成 26 年度の仙人発電所取水設備における定期点検のため、湯田ダム水位を通常より低下させたところ、大雨により濁水が発生し和賀川へ流下し、河川環境への影響が懸念されたことからダム放流終了後の平成 26 年 12 月から平成 29 年度まで河川現況調査業務委託を実施した。平成 28 年度からは河川現況調査業務委託に加え、河川状況を熟知している漁業協同組合に委託し河床調査を実施している。

これまでの河川現況調査の結果から一般的な環境基準は満たされていることが確認されているが、濁水流下前の河川状況については把握していなかったことから、濁水流下前後の河川環境の変化が不明である。

今後も定期点検については 10 年に一度実施することから、定期点検前後の河川環境の変化について引き続き調査することとしており、今回は定期点検の前年度である令和 5 年度から放流後の令和 7 年度まで河川現況調査を実施することとしている。

○河川現況調査一覧

年度	委託名	調査内容
H26	仙人発電所下流河川環境調査	河床堆積物、付着藻類、河床調査、水質調査
H27	仙人発電所下流河川環境調査	河床堆積物、付着藻類、河床調査
H28	仙人発電所下流河川環境調査	河床堆積物、付着藻類
H29	仙人発電所下流河川環境調査	河床堆積物、付着藻類
R5	和賀川河川現況調査	河床堆積物、付着藻類
R6 実施中	和賀川河川現況調査	河床堆積物、付着藻類、河床管理調査、魚類調査、水質調査、カワウ生体状況調査(予定)

○河床調査一覧

年度	委託名	調査内容	参加者
H28	和賀川河床調査	河床調査	和賀川漁協、企業局
H29	和賀川河床調査	河床調査	和賀川漁協、企業局
H30	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	和賀川漁協、企業局
R1	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	湯田ダム管理支所、和賀川漁協、企業局
R2	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	和賀川漁協、企業局
R3 R4	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	和賀川漁協、東北自然エネルギー(株)、岩手中部土地改良区、企業局
R5	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	和賀川漁協、東北自然エネルギー(株)、岩手中部土地改良区、企業局
R6 実施中	和賀川河川環境調査	河床調査、採捕調査	和賀川漁協、東北自然エネルギー(株)、岩手中部土地改良区、企業局

2 地域貢献事業

企業局では平成 27 年度から地域貢献としてアユの稚魚放流を行っており、令和 3 年度からは和賀川地域貢献事業として、共同事業者 3 者(企業局、東北自然エネルギー㈱、岩手中部土地改良区)で稚魚放流を行っている。

3 今後について

定期点検時のダムからの放流、定期点検前後の河川環境の状況などについて和賀川河川環境保全連絡会において情報共有しながら進めていきたいと考えている。